

# とよた 市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.179



## 表紙の写真と関係議案 (議案 第72号 関係)

将来的なメタバースの拡大を見据え、仮想空間でのコミュニケーションを通じて、市民・企業のニーズや行政課題の解決を図ります。地域全体でチャレンジできる自治体メタバースを目指して、市民・企業・行政など多様な主体が、様々な目的で利用し、相互連携が可能となる共通基盤を構築します。

## 6月市議会 定例会号

令和6年8月1日

## 目次

■ トップインフォメーション 市議会の役割	2
■ 議案審議結果	4
■ 議案説明・討論	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
■ 一般質問 市政を問う! 21人の議員が質問	8
■ トピックス 議員提出意見書	12

全国市議会議長会表彰

# 市議会の役割

## 市議会の役割とは

誰もが住み続けたいと思うような住みやすいまちにしていくなために、市民全員が集まって話し合うことが最も理想的です。



しかし、実際に市民全員が集まって話し合うことは、現実的ではありません。そこで、市民の皆さんが選挙によって自分たちの代表となる人を選び、その代表者が今後のまちづくりや社会福祉などについて話し合いを行います。この選挙によって選ばれた代表者を市議会議員、話し合いの場を市議会といいます。

市議会議員は、市の取組をチェックしたり、市民の皆さんの声を市に伝えたりすることで、住みやすいまちになるよう活動しています。

市民から選ばれた市議会議員と市長がよりよい豊田市を目指して一体になって頑張るのが市議会なんだよ!!

## 議会ではどのように話し合いをしているか

市議会では議会に提出された市の条例や予算※・決算※などの議案※の内容をチェックします。

本会議の限られた時間の中で、議案を詳細に話し合う(審議)ことは大変難しいことです。そこで、委員会という担当を分担し詳しく話し合いをする会議を作り、その中で、議案をさらに詳しく審査しています。現在、本市では6つの常任委員会(企画総務、地域生活、教育社会、環境福祉、産業建設、予算決算)を設置しており、議案の内容によって、各委員会へ付託※しています。

その後、委員会での審査を経て、本会議で最終的に個々の議案について賛成か反対かを明らかにしています。

- ※予算…市のお金(税金等)をどのように使うか計画を立てたもの
- ※決算…最終的にお金(税金等)をいくら使ったか整理したもの
- ※議案…市議会に提案され話し合われる案件
- ※付託…議案の詳しい話し合いや研究を委員会にゆだねること



市議会ペンギン

# 市議会の流れ

## 議案



市長や議員が、市が行う仕事、お金の使い方(予算)、決まりごとなどについて提案を行います。

## 本会議



本会議とは、市が行う仕事を最終的に決める会議です。  
市長が決めた市の計画や仕事を本当に行うか、それとも行わないかは、多数決によって決まります。

## 議決



本会議で賛成が過半数を占めた議案は可決され、市長に届けられ、実行に移されます。

## 請願・陳情



市民の皆さんが、直接市議会に提案する要望です。

## 委員会



市が行う仕事は多いため、仕事の種類によって担当の議員を決めて、専門的に調べたり意見を出し合って、賛成か反対かを決めて、本会議に報告します。

## 意見書



市だけでは解決できないことは、国や県などへ意見書として提出して、議論してもらいます。

# 市議会の様子を実際に傍聴・見学していただけます。

## ● 議会の傍聴とは

本会議や委員会の様子は子どもを含め、どなたでも傍聴していただけます。

当日、傍聴受付で住所・氏名を記入いただいた方に、傍聴券を配付します。車椅子での傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会局までお申し込みください。

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます(土日・祝日を除く)。職員が案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会局までご連絡ください。

議場見学は個人、又は団体での受入れもしていますので、お気軽にご相談ください。

※議会の期間や日程は市議会ホームページをご参照ください。

### 傍聴受付

※会議が始まる30分前から受付  
本会議→市役所南庁舎8階 委員会→同7階委員会室前



▲傍聴席からの議場

**先生必見!!**

学校の社会見学として  
議会を傍聴できるよ!



## ● お問い合わせ

豊田市議会局(豊田市役所・南庁舎6F)  
TEL.0565-34-6665 FAX.0565-34-6566  
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp



## 条例の制定、補正予算など19議案を議決

### 迅速な災害対応を目指す(トイレカー)

#### 【議案第72号】 令和6年度一般会計補正予算

令和6年能登半島地震では上水道の断水や下水道の停止が発生し、トイレ問題が深刻化したため、その対策として「トイレカー」が導入され、その有効性が再認識されています。本市は石川県志賀町等への災害派遣を行う中で、現地で「トイレカー」の衛生面や機動性の有効性を確認し、導入する必要があると考え、市内でトイレカーを製造している3社から1台ずつ導入することにより、迅速な災害対応・市内企業との連携を強化していきます。



6月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。  
※発言順に記載

#### 根本美春 諸派

**副市長定数条例の一部改正の条例は必要と認められる内容が示されておらず、反対**

議案第85号:反対。「国県との良好な連携強化」が述べられているが、副市長の2人体制で解消できる課題である。行政マネジメントは、予測できない危機的状況においても、住民の日々の暮らしや命に向き合い、住民の福祉の増進を担う公務労働に関わる。公共サービスの市場化や、民間委託、非正規化が進む現状において、職員の積み重ねてきた専門性、正規雇用を基本とした継続性は、将来の困難な課題に対応するためにも、保障されなければならない。これらを総合的に判断し、反対。

#### 浅井保孝 自民クラブ

**副市長定数条例の一部改正の条例は舵をきるべきタイミングであり、賛成**

議案第85号:賛成。将来のまちづくりは今後、高度化・多様化及び複雑化し、人口減少社会、デジタルトランスフォーメーションやカーボンニュートラルなどの高度な専門性が要求され、これまで経験したことのない事態にも備える必要がある。現時点では、まずは3人体制に移行することができる体制に着手されたことを評価する。さらに、付け加えるなら、現在作成中の第9次総合計画は今後の本市の「未来への道しるべ」となるべきものであり、その計画がスタートする時期として、賛成。

#### 鈴木孝英 市民フォーラム

**令和6年度一般会計補正予算は施策の推進と課題に対する一助になると評価し、賛成**

議案第72号:賛成。本議会に上程された予算規模は、197事業に対し総額75億円となり、第8次総合計画に定める重点施策を強力に推進するものと評価。

中でも、はあと라운ジのサテライト開設やオンライン支援にかかる環境整備、経済的な理由でフリースクールへの通うことが困難な児童生徒への支援事業は、学校や教室に行けない、行かない児童生徒の社会的自立支援を目的とした支援の強化につながる。

近年の不登校児童生徒の状況は、令和2年度に比較し約2倍となるなど、急激な変化に直面している。こうした中でこれらの事業は、学校の代わりになる精神的な居場所や学びの場を確保し、学校に行かない事で生じるうしろめたさ、孤立感や社会的な不安を軽減し、心身の健康を保つための極めて重要な施策であると捉え、賛成。

#### 大石智里 公明党

**豊田市指定障害福祉サービスの条例一部改正はサービス向上が期待され、賛成**

議案第70号:賛成。指定障害福祉サービスの事業等の設備、運営等に関する基準等を定める条例の一部改正の条例により、障がい者が就労選択をする際、自分に合った適切な進路を選択することが今まで以上に可能となることに加え、一般就労などへのステップアップにつながる。指定障害者支援施設等の利用者に対しては、生活やサービスの提供において、より丁寧に入所者本人の意向や希望を聞き取ることとなり、利用者が望む生活やサービスの提供につながることが期待されることから、賛成。

#### 岡田耕一 新しい風

**工事請負契約の締結(元城庁舎ほか1施設解体工事)は歳出抑制につながり、賛成**

議案第77号:賛成。「仮に用途廃止した令和5年度末まで、建物の賃貸借契約を継続していた場合との比較でコスト的に、寄附受納を受けたほうが約1,700万円の歳出抑制と試算。東庁舎の供用後も、様々な団体などが利用したことで、行政財産目的外使用料などの歳入確保につながり、無償譲渡を受けた平成22年度の賃借料で試算すると、1,200万円程度の歳出抑制」との答弁があった。当初の試算を下回ったものの、1,000万円を超える歳出抑制につながり、当時の判断が妥当であったと評価し、賛成。

# 常任委員会

**常任委員会とは** 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

## 産業建設 委員会

6月18日、付託された4議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第78号】 工事請負契約の変更(都市計画道路高橋細谷線竜宮橋橋りょう整備工事(その8))

**質問** 今回の変更工事で鋼矢板の一部を河川内に残置した際の河川への流水や堤防構造への影響はどのようか。

**答弁** 鋼矢板を残置する深さについては、河川管理者と協議し、堤防の機能維持に必要な定規断面に入らないように、鋼矢板の上部を切断し、護岸法面の表面から地下約2メートルの位置で、河川の流水や堤防の構造に影響がないように残置している。

【第83号】 財産の処分(花本産業団地内土地)

**質問** 市内経済への売却の効果はどのようか。

**答弁** 当該用地の売却による経済効果として、次の3点を見込んでいる。1点目は、本市の基幹産業である自動車産業の更なる集積と、付加価値の高い研究開発が実施されることで、持続的な産業振興に寄与すること。2点目は、市外の研究開発拠点の従業員約200人が配置される予定と聞いており、市内従業者数の増加につながること。3点目は、新たな事業者が研究開発に必要な設備投資を行った場合の固定資産税や、従業員が配置されることによる法人市民税について、一定の税収効果が生じることを期待している。

## 環境福祉 委員会

6月19日、付託された2議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第69号】 産業廃棄物処理に係る行政処分の基準等に関する条例の一部改正条例

**質問** 条例は平成17年に定めたもので、これまで許可条件違反の事例は無いと承知しているが、今回条文を付け加えた目的と経緯はどのようか。

**答弁** 産業廃棄物処理業及び産業廃棄物処理施設の許可については、法定受託事務であり、その許可に対する行政処分について、国から処理基準となる通知が出されている。この処理基準通知や、国から出されている行政処分指針通知等のとおり、厳正かつ積極的に行政処分を行うよう、本条例を策定した。令和4年度に、条例と国の処理基準通知で、行政処分の内容に一部相違点があることが判明したため、市民や事業者に対してより処分基準を明確にするため改正を行うこととした。

【第70号】 指定障害福祉サービスの事業等の設備、運営等に関する基準等を定める条例の一部改正条例

**質問** 国が改正した省令によると、入居施設において、地域移行等確認担当者の設置及び、意向確認のマニュアル化が必要になるが、考えられる事業者の負担はないか。

**答弁** 地域移行等確認担当者は、サービス管理責任者との兼務を可能とする方向で検討されているため、職員の増員の必要性はないと認識している。また、障がい者への意向確認は、サービス管理責任者が利用者ごとに作成する個別支援計画の作成や、見直しの際にあわせて行うことが想定されるため、業務量が大幅に増加することはないものと考えている。そして、意向確認のマニュアルは、今年度中に厚生労働省が作成するマニュアルに基づき、各施設が整備する予定となっている。令和8年度の実施に向けて、時間的な猶予も確保されていると認識している。

## 教育社会 委員会

6月20日、付託された3議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第74号】 工事請負契約の締結(市立中山小学校校舎増築工事)

**質問** 今回の工事による教室数の増加のほか、工夫した点や新たな取組はどのようか。

**答弁** 増築校舎の教室は、前後の壁に黒板を設置せず、壁の仕上げ材をホワイトボードとしたため、ICT教育やグループワーク等の新しい時代の学びへの活用が期待される。また、2階部分は豊田市産材を活用した木造になっており、教室や図書室は、天井の梁などの構造材を見ることができ、児童がより木を身近に感じることができる空間としている。



中山小学校 イメージ図

【第79号】 財産の取得(校務用パソコンデータ保存サーバ機器)

**質問** 世の中の流れとして、機器による保存からクラウドへの保存が進んでいるがその方向性についての考えはどのようか。

**答弁** 学校で保存しているデータは、容量の大きい動画や写真、また重要性の異なる文書が多数あるため、クラウドも含め様々な特徴を生かした保存方法を考えていく。

## 地域生活

委員会

6月21日、付託された3議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第80号】財産の取得(小型動力ポンプ付き積載車(その1))

【第81号】財産の取得(小型動力ポンプ付き積載車(その2))

**質問** 小型動力ポンプ付き積載車(その1)に関し、小型動力ポンプ付き積載車5台を取得し、1台は新規で浄水町地内に配置することのだが、消防団員の習熟期間等を含めたスケジュールはどのようなか。

**答弁** スケジュールは、車両の供給予定期限である令和7年2月28日までに納車後、緊急自動車の届出や、車両資機材の取り扱い訓練などを経て、令和7年4月1日に運用を開始する予定である。この運用をする上で、知識及び技術を備えた第1方面隊第1分団第3部の消防団員15人程度が移籍し、同分団第4部として新たな隊を発足する。

**質問** 車両導入に際し、今回、消防団の意見から仕様に加えた点はあるか。

**答弁** 消防団の意見から仕様に取り入れた点としては、今後も増加傾向にあるオートマ限定の運転免許保有者に対応するため、オートマ車とし、安全装置であるコーナーセンサーや、バックモニターを採用したことである。また、ワンボックス型は、車両両側上部に照明を設置し、夜間活動における視認性を高めている。

## 企画総務

委員会

6月24日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第67号】市税条例等の一部改正条例

**質問** 各市町村が再生可能エネルギー促進区域を設置する仕組みができたとのことだが、その内容と本市における状況はどのようなか。

**答弁** 再生可能エネルギー促進区域は、環境や地域に配慮した再生可能エネルギーの導入を促す区域として、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、市町村が設定に努めるものである。促進区域で実施する再生可能エネルギーの導入事業は、各種法令手続のワンストップ化等により、事業者の負担が軽減され事業者の参入が促進されることが期待される。本市における促進区域の設定については、令和6年度、7年度で実施する豊田市地球温暖化防止行動計画の改定作業の中で検討していく。

【第85号】副市長定数条例の一部改正条例

**質問** 今回の改正内容を生かし、現行の2人体制に留まらず、今から3人目の登用を想定しておく必要性をどのように考えているか。

**答弁** 現時点は、第9次総合計画の策定中であるとともに、国の動向等も慎重に注視する必要がある段階だと認識しており、直ちに3人制とするタイミングではないと考えているが、しかるべきタイミングに遅滞なく、3人体制に移行することができるように体制を整えていく。

## 予算決算

委員会

6月14日から26日まで、付託された2議案を審査し、議案の全てを承認しました。

【第72号】令和6年度一般会計補正予算

＜歳出2款2項1目＞  
自治区活動推進費

**質問** 各自治区のDX化を推進することによる、自治区が得る効果はどのようなか。

**答弁** DX化による効果としては、市への各種申請書類等の提出や自治区回覧等、自治区業務の効率化につながることである。また、事務負担の軽減を図ることで、若い世代が自治区活動や役員等に参加しやすくなる効果を期待している。

＜歳出4款1項4目＞  
不妊治療対策費

**質問** 少子化対策のひとつとして不妊治療費用の助成は大変有意義であるが、子どもを持ちたい方が不妊治療を進めるにあたり、費用面以外での障壁や課題について、どのように認識しているか。

**答弁** 不妊治療においては、治療と仕事の両立が課題の一つであると認識している。企業・職場や社会が不妊治療等についての理解を深めること。そして、一部の企業では導入されている治療のための時間を確保しやすい休暇制度や柔軟な働き方といった多様な選択肢が用意され、治療に臨みやすい職場環境の整備・拡充が必要である。

## 市政を問う!

6月10日から12日にかけて、21人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

**岩田 淳**

自民クラブ



- 世界ラリー選手権豊田市開催のあり方
- 人口減少期における持続可能な豊田市の姿

**質問** 豊田市における持続可能な人口自然増対策

本市の若年女性人口は社会減となっている。若年女性人口の増加に向けた方策として、本市の考えを問う。

**答 弁**

企画政策部

本市は、産業都市として自動車産業の拠点が立地していることから、転入を促す人口吸引力を持っており、雇用に伴う転入促進を図る必要がある。また、転出抑制として、転入した市民が転出せずに住み続けたいと感じるまちづくりが重要であることから、女性に選ばれる雇用環境や生活環境の創出など、子育てしやすい環境整備を進めることや、子育てしやすいまちとしてのさらなる環境の充実など、多面的な取組が重要であると考えている。

**吉野 英国**

市民フォーラム



- カーボンニュートラルへの取組

**質問** カーボンニュートラル推進に向けた今後の取組

2050年を見据えた今後の本市のカーボンニュートラルの取組について市長の考えを問う。

**答 弁**

市 長

2030年までのCO<sub>2</sub>排出量50%削減に向けて、多様な再生可能エネルギーの最大限の活用や省エネの徹底に加え、先進技術の率先活用に着手するとともに、2050年という長期目線でカーボンニュートラルに取り組むために、SDGsの視点も織り交ぜながら、社会環境の変化に対応していく必要がある。そのためには、各

種計画に基づく取組を着実に実行し、幅広く取組を拡充することで、本市及び社会全体のカーボンニュートラルの実現に貢献していく考えである。

**武田 一夫**

市民フォーラム



- オープンデータ活用促進の取組

**質問** オープンデータカタログの取組

可視化したオープンデータの拡充も必要と考えるが、オープンデータカタログとデータボードの統合について考えを問う。

**答 弁**

総 務 部

オープンデータと「とよたデータボード」とを関連づけて市民に閲覧してもらうことで、オープンデータの活用方法についてイメージを持ってもらいやすくする。単なるデータの羅列ではなく、テキストデータでは理解しづらい豊田市の様々な状況について、オープンデータを基にした可視化で分かりやすくしていく。これらの取組については、現在行っているオープンデータカタログサイトの調査・研究において併せて行っていく。

**近藤 厚司**

自民クラブ



- 超高齢社会を支える介護認定制度の在り方
- 日本の将来を支える豊田市の人口確保に向けて

**質問** 豊田市における持続可能な人口社会増対策

これまでと同様では到底成しえない人口減少対策について、緑の外環の考えも含め、人口確保に向けた豊田市の決意を問う。

**答 弁**

企画政策部

人口減少が進んでおり、自然減対策と社会減対策の両面の取組が必要である。令和6年度においても、市民のライフイベントに応じて多種多

様な施策の拡充に取り組むとともに、緑の外環の在り方など、改めて検討を進めていく。今後の人口確保に向けては、地域ごとの特徴を把握した上で施策を展開する。ターゲットを明確にし、プロモーションも含めた取組が重要であるため、検証を行いながら、効果的な施策を実施していくことが必要と考える。

**杉本 寛文**

自民クラブ



- 心身の健やかな成長を応援する学校給食の無償化

**質問** 給食費無償化による給食現場の現状

小・中学校、幼稚園、こども園の給食費について、制度設計が終わっていない段階で無償化に踏み切った理由を問う。

**答 弁**

教 育 部

本市では、国や他自治体の状況等を確認しながら、令和5年度から無償化の研究を進めてきた。学校給食費の無償化は、本来国が制度化すべきと考えるが、国が制度化するまでには更に時間を要すると推測した。現在の物価高などを背景に、子育て世帯への支援は急務である。給食費の無償化は子育て世帯の経済的な負担軽減策として、早期に実施が可能な施策であり、効果も大きいことから、国に先駆けて令和6年4月から実施することを決定した。

**酒井 斉**

自民クラブ



- 市民にやさしいデジタル化を目指して
- 防犯カメラを活かした安全安心な暮らしづくり

**質問** 市による防犯カメラ設置

安全確保のため、台数の増加や古い機種を更新等を拡充するべきと考えるが、市の考えを問う。

※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
 公明党：公明党豊田市議団 新しい風：新しい風とよた 諸派：会派所属無

**答 弁** 地域振興部

今年度、主要交差点等に設置する防犯カメラについては、設置後の犯罪発生状況や犯罪捜査への貢献度についての効果検証を警察署と進めていく。また、刑法犯認知件数が増加傾向にあることから、新たに不審者情報等を踏まえた「犯罪の起きやすい場所」への設置について警察署と連携して検討を進めていく。これまで公共施設に設置してきた防犯カメラについても、耐用年数等に応じて更新していくことで市域全体での犯罪防止をより一層進めていく。

**杉浦健史**

自民クラブ



- 本市が目指すスポーツを生かしたまちづくり
- 未来に向けた博物館の取組

**質問** スポーツを活用した本市の取組

スポーツ資源を有効活用し、スポーツツーリズムの特化に向けた取組の必要性として本市の考えを問う。

**答 弁** 生涯活躍部

スポーツツーリズムの推進に向けた官民連携については、市やツーリズムとよたなどが連携し、取り組んでいる。大規模なスポーツ大会においては、観光に関する情報提供、大会当日の物販ブースの出店に係る調整などを通じ、消費喚起を促している。今後の庁内体制については、スポーツツーリズムを推進するための専任担当者の配置を考えている。新たな取組にもチャレンジし、マウンテンバイクといったアウトドアスポーツを生かした推進策を検討している。

**岡田耕一**

新しい風



- 市営住宅等における各種課題への対応

**質問** 世帯人数の変化への対応

高齢世帯で入居可能人数に適合しなくなった場合の制度見直しについて、検討状況や進捗状況を含めて問う。

**答 弁** 都市整備部

制度運用による転居にあたっては、高齢を始めとした個々の事情により、住み慣れた場所からの環境の変化や、引越に係る負担等の大きいことは、入居継続の可否に対する課題として、認識している。このことを踏まえ、必要な対応を講じていく考えで、現在は、制度検証を進めているところである。

**大石智里**

公明党



- 市民の健康を守る取組
- こどもの健康と安全安心を守る取組
- 育児休業中の継続在園の利用期間拡大

**質問** 安心して受けられる小中学校の健康診断

安心して受けられる健康診断とするため、小・中学校の健康診断時の服装等へのさらなる配慮について考えを問う。

**答 弁** 教育部

健康診断時の服装に関して、今後、性的マイノリティなど、さらなる配慮を求める声が増えることも考えられるが、現在も事前に申出があれば、学校と学校医が診察方法を協議し、着衣のまま診察をする対応としている。また、学校での診察に抵抗感がある場合は、別日に学校医の病院等で診察することも可能である。学校での健康診断においては、児童生徒の心情やプライバシーに配慮しながら、引き続き正確な検査・診察を実施していく。

**奥村峰生**

自民クラブ



- 魅力創出する中心市街地の取組

**質問** にぎわいを継続させる市駅周辺工事中の取組

工事期間中にすべての利用者が安全かつ円滑に移動するための歩行者動線の安全対策について問う。

**答 弁** 都市整備部

迂回路等における歩行者の通行空間確保のため、既設の防護柵や植栽を撤去し、フェンスを透明なものにすることで見通しを確保した。夜間でも通行量が多い歩行者動線上には、仮設の投光照明等を設置し、明るさを確保している。豊田市駅西口の交差点においては、横断時間拡大により、信号待ちでの横断者の滞留を最小限にしている。自転車利用者に対しては、歩行者との衝突事故を防止するため、自転車から降りて通行するよう注意喚起を行っている。

**福岡靖純**

自民クラブ



- 安心して在宅医療や介護が受けられる社会の実現

**質問** 在宅医療・福祉連携推進計画の取組

豊田地域医療センターがめざす、病棟、外来、在宅をシームレスにつなぎ、地域との関わりを大切にするコミュニティ・ホスピタル像を問う。

**答 弁** 福祉部

豊田地域医療センターが目指すコミュニティ・ホスピタルは、医療・介護・福祉機関と協力して地域包括ケアシステムの構築に貢献することが目的であり、実現に向けて3つの柱で取り組む。1つ目は地域との交流・連携で、令和5年10月にアレルギーセンターを開設した。2つ目は、地域医療DXの推進で、先進技術の活用により、在宅生活を可能にする取組を実施している。3つ目は、地域医療人材の育成で、地域の在宅医療を担う人材を育成している。

## 市政を問う!

議員氏名  
会派名



QRコードから、各議員の一般質問の動画を見ることができます。

石川 要一

自民クラブ



- 電動車の普及を加速するインフラ整備
- 社会の変化を踏まえた都市計画道路網計画

**質問** 今後の都市計画道路網計画

社会の変化や将来予測を踏まえた都市計画道路網の計画方針を問う。

**答弁**

企画政策部

本市においても人口減少が始まっており、将来にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまちづくり、コンパクト・プラス・ネットワークの推進が必要である。現在検討を進めている第9次総合計画の将来都市構造の実現に向け、社会経済活動の活性化などを主要な視点としつつ、既存インフラを有効活用することで拠点間の連携を図り、地域の価値を高め合う安全・安心で利便性の高い都市を支える都市計画道路網として、令和7年度から見直しを検討する。

小島 政直

公明党



- 豊田市におけるこどもまんなか社会の実現

**質問** 第4次豊田子ども総合計画の策定

子どもたち一人一人が尊重されていくことが必要であるが、第4次子ども総合計画の特色を問う。

**答弁**

こども・若者部

分かりやすくメリハリのある計画であること、評価の仕組みを強化することの2点が特色である。子どもの権利、子どもの居場所、子育て支援のデジタル化の3点を施策として推進していく。計画事業についても、子ども視点、保護者視点、地域の視点の3つの視点から方向性を明確化し、実現に貢献する事業を位置づけていく。ユニセフ日本型CFCI実践自治体として計画を進めていく必要がある。

り、外部評価の仕組みを取り入れて実効性の高い計画にしていく。

西田 ひさよ

新しい風



- 包括的性教育をすべての人に

**質問** 子どもに関わる大人への教育

教員だけでなく、部活動や学童保育、交通指導員等の大人が包括的性教育を学ぶ必要性についての考えを問う。

**答弁**

教育部

学校では、学級運営補助指導員、心の相談員、部活動指導者など教員以外にも多くの大人が児童生徒に関わっている。そのような人たちが、教員同様に児童生徒一人一人の健康と安全・安心を支え、見守るといった観点を持ち、児童生徒に関わることは重要であると考え。教員同様に、ジェンダーや性に関する知識を学ぶ機会については、今後検討していく。

松原 一也

自民クラブ



- 広大な豊田市を守る消防力の整備
- 長生きを喜べる長寿社会

**質問** 元気と幸せを作る介護予防

サルコペニア予防の実例は数々あるが、今後の介護予防・健康づくりの取組として本市の方針を問う。

**答弁**

保健部

サルコペニアの予防には、様々な手法がある。本市では自主活動グループに、理学療法士等を派遣し、基本的な運動や症状別の体操を行っている。介護予防・健康づくりの取組は、仲間と一緒に行うことで、フレイル予防につなげていくことが重要であると考えている。現段階では、元気

アップ教室等での筋力アップ体操やストレッチの定着と継続を予定している。他の手法や事例なども参考にしながら、効果的な手法について研究していく。

**解説**

サルコペニアとは

サルコペニアとは、ギリシャ語の「筋肉」を表すサルコと、「喪失」を表すペニアを合わせた言葉で、加齢による筋肉量の減少および筋力の低下のことを指します。タンパク質の摂取不足と運動量の減少によって、作られる筋肉よりも分解される筋肉の方が多くなるのが原因です。筋肉は40歳を境にして徐々に減少し、60歳を超えるとその減少率は加速します。高齢者は、死亡および要介護発生のリスクが高くなり、いわゆる自立喪失の危険性が高いと言われています。

鈴木 昌秋

自民クラブ



- 大規模災害発生後の助かった命を守る

**質問** 命をつなぐ今後の災害対応

災害関連死認定の基準を定める必要があるが、災害関連死審査会設置の条例制定について本市の見解を問う。

**答弁**

福祉部

遺族の方に寄り添い、すみやかに弔慰金を支給するためには、迅速で適切な災害関連死認定が必要と認識している。災害関連死認定には、国に統一的な基準がないことや専門家との調整、判定のための体制整備など、整理すべき課題がある。被災自治体で課題が顕在化している状況等を踏まえ、審査会を条例で規定している自治体や、災害関連死認定を行った自治体などから情報収集等を行うなど、検討に着手し、課題等の整理ができ次第、適切な体制を整えていく。

○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

**質問** 一般質問の小さいテーマ(中項目)  
実際に質問した内容(小項目)

**答弁** 回答した部署名  
質問に対する市の担当部署の回答

### 古木 吉昭

市民フォーラム



●豊田市が目指すデジタル化の将来像に向けて

#### 質問 更なるデジタル化の推進

誰一人取り残されない社会の実現に向けて、デジタル強靱化戦略が目指す豊田市のDXについて問う。

#### 答弁 市長

DXの必要性に対する職員の意識も大きく変わり、前向きな議論が増えている状況である。この流れを加速させることで、本市が進めるDXで、市民や事業者が価値を感じるサービスの構築、向上に寄与していくものとする。次期デジタル強靱化戦略では、ビジョンマップとロードマップを示し、データ連携・データ活用を軸としたDXへ段階を引き上げていきたい。市民に寄り添った支援やサービスを展開していける姿をDXの推進と連動させながら実現していきたい。

### 根本 美春

諸派



○大阪・関西万博への修学旅行は安全優先か  
●市街地活性化基本計画と再開発事業の検証

#### 質問 市街地再開発事業の検証と事業への反映

豊田市駅東口の整備として広場整備と周辺のバス停の設置の取組は、どのように検証結果が反映されているかを問う。

#### 答弁 都市整備部

これまでの再開発事業をはじめとした中心市街地での取組は一定の効果が得られていると捉え、引き続き、ハードとソフト両面で拠点性を高めることが重要と考えている。このため、東口駅前広場は、都心環境計画に基づき、整備を進めていく。豊田

市駅東口のバス停設置については、バス利用者のニーズや令和4年に実施した交通実証実験への対応として、東口駅前広場周辺にバス停を設置する方針とし、関係機関と協議を進めている。

### 鈴木 孝英

市民フォーラム



●世界ラリー選手権の成功を目指して

#### 質問 ラリーを生かしたまちづくりの今後

ラリーをまちづくりに生かすため、2026年以降も継続してラリーに関する取組をすることが必要と考えるが、今後の方向性を問う。

#### 答弁 生涯活躍部

本市が世界ラリー選手権を開催する主な目的は、市民の誇りの醸成、山村地域の振興、地域経済の活性化、地場産業の育成、交通安全啓発の推進である。加えて、民間団体が運営するラリーチャレンジ等の大会が開催されることでこれらの効果は一層高まる。そのため、これらの大会が本市で開催されるよう支援するとともに令和8年度以降も世界ラリー選手権の誘致を目指したいが、経費やコースの選定等、多くの課題があるため、十分な精査を行い、できるだけ早い時期に結論を出したい。

### 中尾 俊和

市民フォーラム



●ケアラー対応の更なる充実

#### 質問 ヤングケアラーへの対応

他の自治体で実施されているように、ヤングケアラー同士が集まり、またはオンラインでつながる場を市として提供すれば、彼らの精神的負担軽減になると考えられるが、本市の見解を問う。

#### 答弁 こども・若者部

現在、愛知県がヤングケアラーの支援体制の充実を図るため、県内3市に委託してモデル事業を実施している。3市では、当事者同士が語り合える場としてサロンを開催していることから、その参加状況や成果を踏まえ、サロンの実施に対するヤングケアラー当事者のニーズを把握していく。



ヤングケアラーへのサポートイメージ

### 中島 竜二

新しい風



●生涯スポーツ推進と地域活性化  
○中心市街地における商業活性化に向けた取組

#### 質問 スポーツイベント推進と地域活性化

スポーツツーリズムによる地域振興について、本市の考えを問う。

#### 答弁 生涯活躍部

スポーツツーリズムを推進する目的は、国際大会や全国大会を誘致した上で、選手や観戦客に向けて、市内での宿泊や飲食、観光地などへの回遊を促すことで市内経済の活性化を図ることである。現在本市では、誘致する際の負担金支援、来訪者への情報発信、スポーツ合宿誘致などに取り組んでいる。今後は効果検証のほか、新たな取組として、アウトドアスポーツの活用を検討し、スポーツツーリズムのさらなる推進を図っていく。

## 議員提出意見書

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方公共団体における環境は、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、感染症対策、GX・DX化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたり新たな役割が求められている。

加えて、急激に進められている自治体システムの標準化や多発化する大規模災害への対応も迫られる中、地方の公共サービスは増加し、職員等の疲弊感も日々増している。

政府はこれまで「骨太方針2021」に基づき、地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしてきたが、今後はより積極的な財源確保が必要であり、2025年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては歳入・歳出を的確に見積り、人件費の確保まで含めた地方財政を目指すよう、下記の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

## 記

- 1 社会保障の充実、地域活性化、防災・減災対策、GX、DX、地域交通対策、人口減

少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、持続的な経済成長を促すよう、地方の財源の確保・充実を図ること。

- 2 社会保障の維持・確保について、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズに対し、人材確保と十分な財政措置を講じること。
- 3 激甚化、頻発化する自然災害に屈しない、強靱な国土づくりに向け、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の強力な推進に必要な財源を例年以上の規模で確保するとともに、災害発生時における迅速かつ円滑な復旧を支援するTEC-FORCE等の体制・機能の拡充、強化を図ること。
- 4 自治体業務システムの標準化・共通化に向けて、移行と維持改修にかかる経費を含め、デジタル基盤改革支援補助金の拡充などの財源の確保とともに、地域経済の活性化に向けて企業等のデジタル化を支援し、必要な財源措置を図ること。
- 5 カーボンニュートラルに向けた地方自

治体の取組を支援し、目標の達成と産業振興につながる財政措置を図ること。

- 6 森林環境譲与税の譲与基準については、地域性を十分鑑み林業需要の高い自治体への譲与額の増額等の見直しを行うこと。
- 7 エネルギー価格や食料品価格等の物価上昇による財政需要の増大に対して地方自治体の健全な財政運営のために必要な財政措置を図ること。
- 8 行政需要が増大する中、職員の能力・意欲向上のためにも地方公務員の諸手当のうち地域手当については、各地域によって生活実態が異なることから、賃金水準や生活水準維持の観点も踏まえ、昨年度の人事院勧告に記載された大きくくり化ではなく、地方公務員法の趣旨を踏まえ各自治体が支給割合等について決定できる制度とすること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和6年6月27日  
豊田市議会

## 全国市議会議長会表彰

令和6年5月22日に東京都で開催された全国市議会議長会定期総会において、鈴木章議員が20年勤続表彰を受けました。

6月市議会定例会の開会日に、議長から表彰状が手渡されました。

鈴木議員▶



## 市議会の予定 9月市議会定例会は、8月30日(金)開会予定です

..... ■ 請願・陳情の提出期限 / 9月定例会で審査を希望される場合は、8月21日(水)午後5時までにご提出ください。.....

## ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット放送 <http://toyota-shigikai.jp/>

豊田市議会 検索 「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや  
会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>



一般質問の様子はスマートフォン等からも  
閲覧いただけます。

※/パケット通信が必要になりますので、  
携帯端末等での視聴はWi-Fi環境を  
おすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/122ch(ひまわり12サブチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継  
チャンネル/78.6MHz

## ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、  
また、市議会へのご意見・ご要望もお受けし  
ていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。